

展覧会概要

1 作品等展示

本展では、アール・ブリュットの提唱者であるフランスの芸術家、ジャン・デュビュッフェにコレクションされた作家から現代に活躍する作家まで、国内外で活躍してきた作家による独創性あふれる作品を紹介します。人が持つ、枠を超えた「アンフレームド」な創造力は、芸術を捉える目や価値観を変え、芸術をより身近な世界へと開きました。既成概念にとらわれない、人間のマグマのような多様な表現から、一人ひとりが固有の輝きとチカラを持つ存在であることを本展を通して考えます。

また、作品展示に加え、ジャーナリストや料理研究家という異なる分野の識者の参加により、人が表現することの本質や表現されたカタチをそれぞれの視点からご案内いたします。

※会場ごとに出展作家、作品点数及びカウル角度案内人が異なります。

【出展作家】 ※姓の 50 音順

阿山隆之、香川定之、門山幸順、マッジ・ギル、齋藤勝利、佐藤朱美、フランソワ・ジョービオン、清野ミナ、レオンハルト・フィンク、藤田雄、与那覇俊

【カウル角度案内人】 ※姓の 50 音順



伊藤詩織（ジャーナリスト、ドキュメンタリー映像作家）

1989 年生まれ。BBC、アルジャジーラ、エコノミストなど、主に海外メディアで映像ニュースやドキュメンタリーを発信している。国際的メディアコンクール New York Festivals 2018 では制作したドキュメンタリー『LonelyDeath』（CNA）と『Racing in Cocaine Valley』（Al Jazeera）が 2 部門で銀賞を受賞。2020 年米 TIME 誌の世界で最も影響力のある 100 人に選出される。



土井善晴（料理研究家）

1957 年、大阪生まれ。フランス料理や日本料理を学んだ後、土井勝料理学校講師を経て、92 年に「おいしいもの研究所」を設立。十文字学園女子大学招聘教授、東京大学先端科学研究センター客員研究員。テレビ朝日「おかずのクッキング」の講師を 30 年務めている。著書に「一汁一菜でよいという提案」グラフィック社、「土井善晴の素材のレシピ」テレビ朝日出版、「料理と利他」ミシマ社、「くらしのための料理学」NHK 出版など。

【音声ガイド】

東京都渋谷公園通りギャラリーにおいて、音声ガイドを貸出（無料）いたします。



コムアイ（歌手・アーティスト）

歌手・アーティスト。1992年生まれ、神奈川県育ち。「水曜日のカンパネラ」のボーカルとして、国内だけでなく世界中のフェスに出演、ツアーを廻り、その土地や人々と呼応しながらライブパフォーマンスを創り上げている。音楽活動の他にも、モデルや役者、ナレーターなど、様々なジャンルで活動している。

2 関連イベント

本展と関連したトークイベント等の開催を予定しています。

3 その他

展覧会、関連イベント、新型コロナウイルス感染拡大防止策等の詳細については、東京都渋谷公園通りギャラリーのホームページ（<https://inclusion-art.jp>）をご覧ください。